PF研究会, 2011.10.14-15, 福本恵紀, 東工大

時間分解XMCD-PEEMによる磁気渦構造のダイナミクス測定

新井邦明¹, 松下智弘², 大沢仁², 中村哲也², 室隆桂之², 木下豊彦², 木村崇¹, 大谷義近¹ ¹ISSP, 東大, ²JASRI/SPring-8

- •LLG方程式⇒Thiele方程式+境界条件
- ・測定手法
- 磁気渦コアの振動モード
- 磁場印加中の磁気渦構造のダイナミクス







円盤型磁性体のスピンダイナミクス (Thiele方程式+境界条件)



時間分解XMCD-PEEM @ SPring-8 BL25SU



時間分解XMCD-PEEM



磁場パルスの形状





磁気渦スピン構造のダイナミクス 円盤直径:6µm,厚さ:30nm



磁気渦スピン構造のダイナミクス (振動モード) 円盤直径:6µm, 厚さ:30nm



磁気渦スピン構造のダイナミクス (振動モード) 円盤直径:6µm, 厚さ:30nm



磁気渦スピン構造のダイナミクス (磁場印加中)

円盤直径:6µmと4µm,厚さ:30nm

外部磁場強度に対するコアの変移量

 $s = \chi(0)H$

- s:円盤半径で規格化したコアの変移量
- H:コアを円盤から追い出すために必要な磁場で規格化した磁場強度

$$\begin{split} \chi(0) &= 4\pi F(\beta) \quad \mathbf{\beta}(= \mathbf{P} \mathbf{\hat{c}} / \mathbf{\hat{k}} \mathbf{\hat{c}} \mathbf{\hat{c}}$$

Thiele, PRL, 30, 230 Guslienko et al., APL, 78, 3848 Guslienko et al., PRB, 72, 14463 Gusliekko et al., PRB, 65, 24424 Antos et al., JPSP, 77, 31004

磁気渦スピン構造のダイナミクス (磁場印加中) 円盤直径:6µm, 厚さ:30nm





コアの変移:磁場強度に対して非線形応答 サブナノ秒のDelay

磁気渦スピン構造のダイナミクス (磁場印加中) 円盤直径:6µmと4µm, 厚さ:30nm



渦構造の歪み

直径6µmの円盤 (反磁界係数が小さい)

コアのダイナミクス 磁場に対して非線形応答, サブナノ秒のDelay 渦のダイナミクス スピン構造の歪み

ゼーマンエネルギーが、コアの移動だけでなく、渦構造の歪みにも費やされた.

Summary

•Pump-probe XMCD-PEEM 測定.(時間、空間、元素分解能)

・ミクロンサイズ円盤型磁性体

・振動モード

Thiele方程式により再現
減衰定数は、γ

・外部磁場に対する非線形応答

・磁場強度依存 ・円盤サイズ依存

反磁界エネルギーの小さい円盤は 磁気渦構造が歪められやすく、コア の運動に遅延が生じた.